

第3章 平戸市における夜間景観基本計画の方針

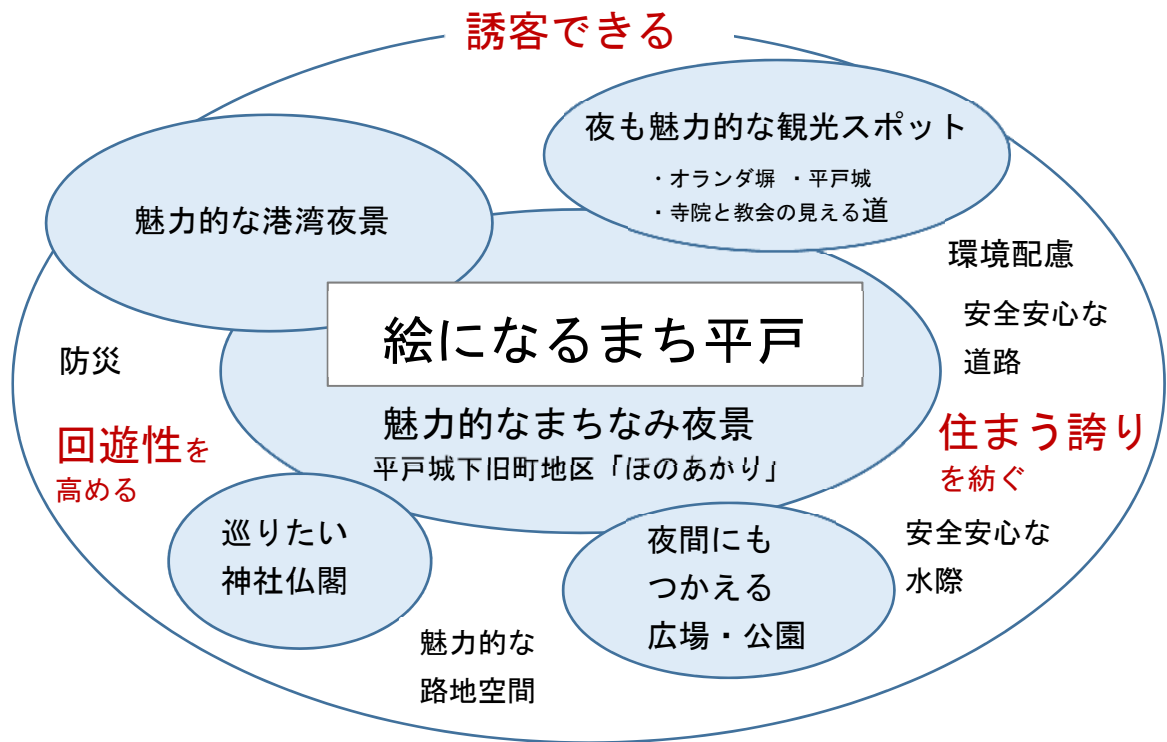
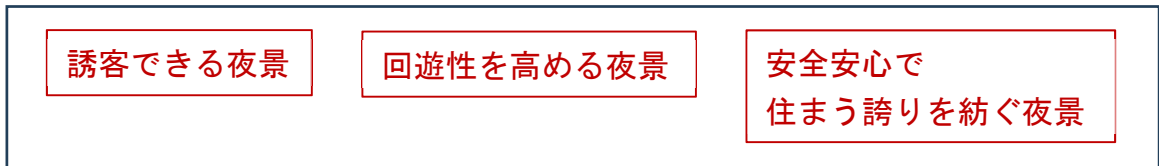
3-1. コンセプト

観光まちづくりの視点で各所の夜間景観を検討し、地域の再ブランディングに貢献する『他に類の無い夜景のまちづくり』をめざします。

ステートメント（宣言） **絵になるまち平戸**

夜間景観づくりのコンセプト
平戸らしさを磨き上げ
安全安心で誇りをもって住まうことができ
夜景が誘客の媒体となる
新たな観光・文化都市平戸
をめざします

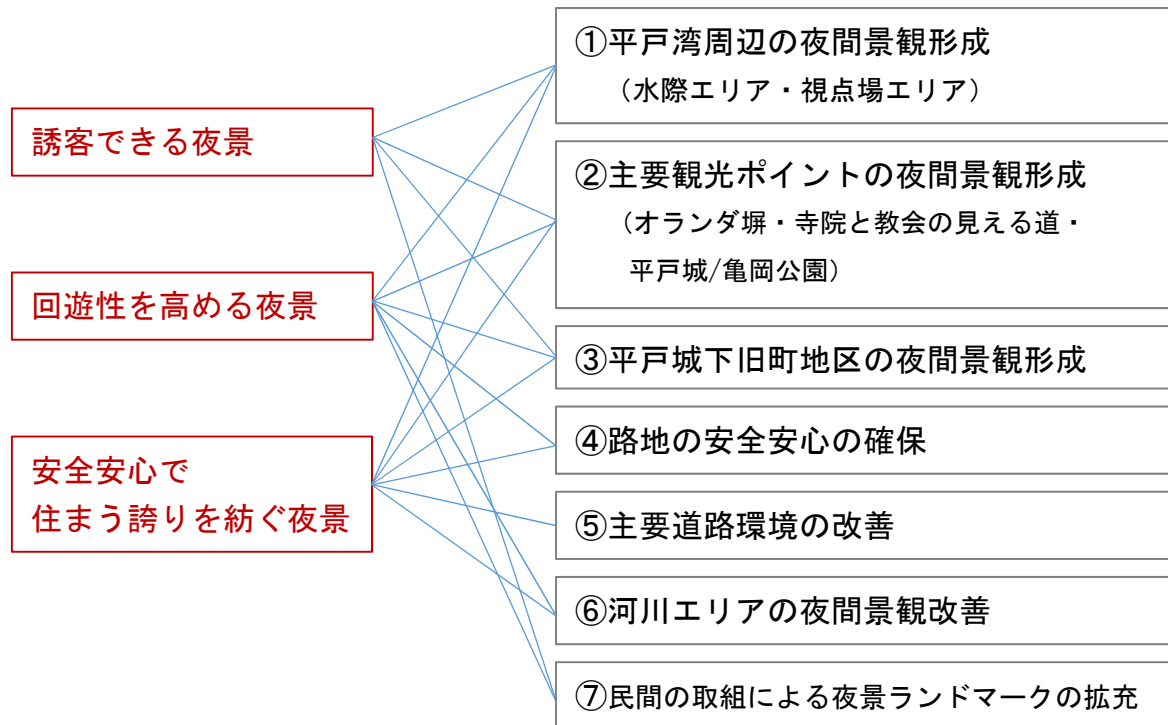
あかりの指針



3-2. 夜間景観基本計画の方針

「平戸らしさを磨き上げ、安全安心で誇りをもって住まうことができ、夜景が誘客の媒体となる新たな観光・文化都市平戸」の実現に向け、現状の調査、上位計画から導き出される方針、社会における観光まちづくりの方向性及び令和4年度から5年度に実施された各種アンケート及び住民ワークショップにおける市民・地域の意見をもとに以下のように7つの方針を設定します。

『絵になるまち平戸』3つの指針と7つの方針



3-3. 都市照明に求められるあかりの品質と照明計画のポイント

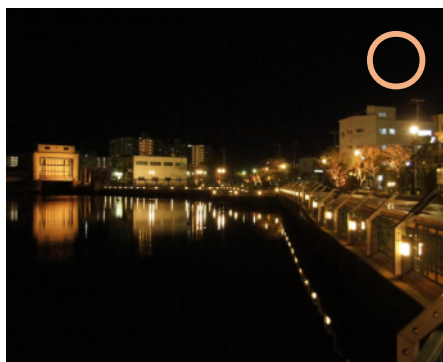
今日の都市照明においては、以下のような「あかりの品質」が求められています。

- ①あかりの色温度・・・・・・・・・・観光地・住宅地には暖かな「電球色」が最適です
- ②鉛直面の明るさ感が重要・・壁や樹木を照らすことは大きな明るさ感を創出します
- ③照明の配光を考える・・・・・・・・不快なまぶしさや夜空に拡散する光を抑制しましょう
- ④省エネルギー・・・・・・・・・・LED光源の利用、明るさの制御などが簡単にできます
- ⑤色彩の氾濫をふせぐ・・・・・・・・まちなみにふさわしい色彩の選択は重要です
- ⑥緑を活かす・・・・・・・・・・照らされた豊かな緑は、安全安心感をつくります
- ⑦点灯時間の管理・・・・・・・・・・時間による点灯管理は環境配慮の点で重要です

これら原則のうち、地域で良い夜間景観を実現するためには、下記の①～③の3つが特に重要です。

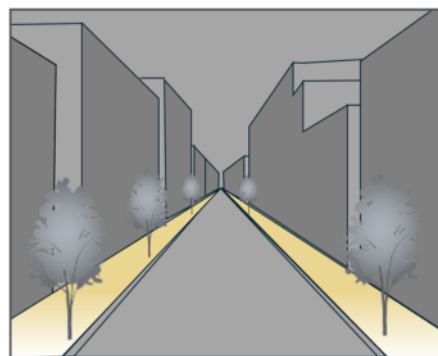
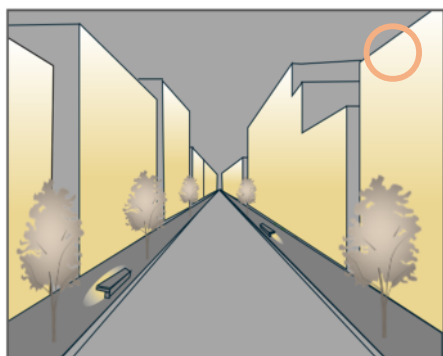
①最適な色温度

色温度とは光の色味の度合いのことをいいます。色温度が高いと白く冷たい光の色になり、低いと黄色く暖かい光の色になります。



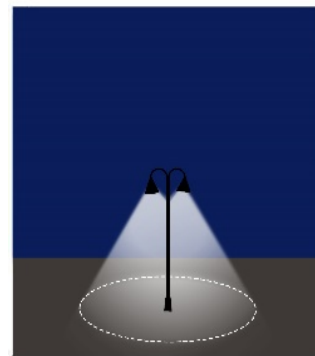
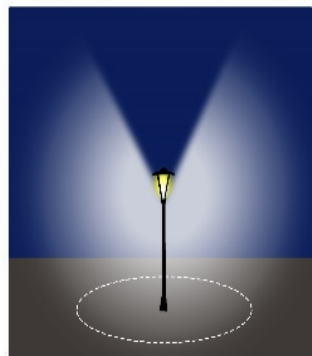
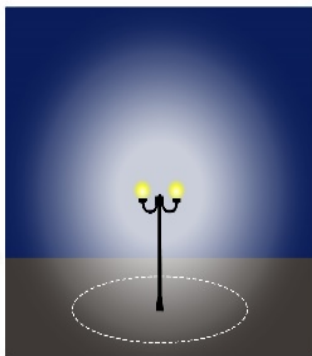
②鉛直面の輝度を重視する

同じ光の量でも、床面にあてるより、壁面にあてるほうが明るく感じます。



③グレアフリー

グレアとは、目にまぶしさを感じる不快な状態をいいます。また、グレアがあると、それより強い光しか明るく感じなくなり、その他のものは暗く見えるようになります。



まぶしく、
エネルギーロスが高い

歩行に必要な
十分な明るさ

